



2019 年 2 月 9 日

注意

本大会で使用する問題のセットは、以下の 4 種類があります。

上坂 上坂が作成した問題のみ使用。

鈴木 鈴木が作成した問題のみ使用。

Hybrid 上坂・鈴木両者の問題をランダムに混ぜて使用。

- Hybrid の問題 1 セット中、上坂作成の問題と鈴木作成の問題の数の差は 5 問以内になるようにします。

共通予備 判定時に行われる「1 ○ 1× のサドンデス」および、問題の補充が必要になった場合に使用します。

- これについては、上坂・鈴木作成問題の構成比は公開しません。

1st Round: Pen of Hybrid

- 100 問の筆記問題と 1 問の近似値問題からなる筆記クイズです。
- 制限時間は 20 分です。
- 100 問のうち、問題番号が 5 の倍数の問題（5 問目、10 問目、15 問目、…、100 問目）は「順位決定問題」となります。
 - 順位決定問題に関しては解答用紙の解答欄が灰色になっています。
- 前半 50 問は上坂の問題、後半 50 問は鈴木の問題になります。
- 以下の基準で順位を決定します。
 - (1) 筆記問題の正解数が多い方が上位。
 - (2) (1) が同じ場合、順位決定問題 20 問の正解数が多いほうが上位。
 - (3) (1)(2) が同じ場合、近似値問題の正解からの誤差が小さい方が上位。
 - (4) (1)~(3) がすべて同じ場合、エントリーが早い方が上位。
- 1 位から 50 位までの 50 名が 2nd Round に進出となります。

2nd Round: Suspend of Hybrid

- 1st Round の 1 位~50 位の 50 名を、10 名ずつ 5 組に分けて行う早押しクイズです。
 - 使用する問題はすべて「Hybrid」です。
 - 組分けは以下の表の通り行います。（表の中の数字は 1st Round の順位を指す。）

Group A	1	6	11	16	21	26	31	36	41	46
Group B	2	7	12	17	22	27	32	37	42	47
Group C	3	8	13	18	23	28	33	38	43	48
Group D	4	9	14	19	24	29	34	39	44	49
Group E	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50

- 各グループごとの初期得点は以下の通りです。
 - グループの最上位 (1 位~5 位) は 2pts からスタート。
 - グループ内の 2 位・3 位 (6 位~15 位) は 1pt からスタート。
 - それ以外の参加者は 0pts からスタート。
- 正解すると 1pt 加算され、4pts で勝ち抜けとなります。
- n 人が勝ち抜けている状況で誤答した場合、次の問題以降 $5 - n$ 問の間解答権を剥奪します。すなわち、

- 誰も勝ち抜けていない場合、次の問題以降 5 問の間解答権を剥奪します。
- 1 人勝ち抜けている場合、次の問題以降 4 問の間解答権を剥奪します。
- 2 人勝ち抜けている場合、次の問題以降 3 問の間解答権を剥奪します。
- 3 人勝ち抜けている場合、次の問題以降 2 問の間解答権を剥奪します。
- 解答権剥奪中に他の参加者が勝ち抜けた場合も、解答権復帰までの問題数は変わりません。
- グループの終了条件は以下のいずれかが満たされた場合とします。
 - 4 人の勝ち抜けが出た。
 - 35 問が経過した。
- 終了時に 4 人の勝ち抜けが出ていない場合、以下の順序に基づいて上位から残りの勝ち抜けを決定します。
 - (1) ポイントが多い方が上位。
 - (2) (1) が同じ場合、誤答の少ないほうが上位。
 - (3) (1)(2) が同じ場合、1st Round の順位が高い方が上位。

3rd Round: Choice of Hybrid

- 2nd Round を通過した 20 人を、5 人ずつ 4 組に分けて早押しクイズを行います。
- 組ごとに異なるルールで進行します。また、4 組中 2 組の問題は「上坂」、他 2 組の問題は「鈴木」となります。
- 参加する組の決定は次のように行います。
 - まず、参加者 20 名に優先順位を与えます。優先順位の決め方は次の通りです。
 - (1) 2nd Round での勝ち抜け順位が高い方が上位。
 - (2) 勝ち抜け順位が同じ場合、1st Round の順位が高いほうが上位。
 - 優先順位 1 位の方から順番に組を選択していきます。
 - 5 名が埋まった組はそれ以降選択することができません。
 - 選択できる組が 1 つになった場合、それ以降の参加者はすべてその組に強制参加となります。
 - なお、事前に参加者 20 名に、「もし自由に組を選択できるならどの組を選ぶか」というアンケートを取り、その結果は名前込みで組選択の前に公開します。
 - * もちろん、そのアンケートとは違う組を選択しても問題ありません。
- どの組でも終了条件は以下の少なくとも 1 つが満たされた場合とします。
 - 2 名が勝ち抜ける。
 - 15 分が経過する。
 - 75 問が経過する。
- 勝ち抜けが 1 名以下の状態で終了した場合、各組ごとの順位基準に従って、(勝ち抜けた参加者も含めて) 上位 2 人が準決勝に進出します。

■ Group A: 10 ○ 10× (2019 edition) (出題: 上坂)

- 10 問正解すると勝ち抜けです。
- 誤答した場合、× が 1 つつきます。
 - ただし、連続誤答、つまり、1 度誤答したあと、自身の正解を挟むことなく 2 回目の誤答をした場合、× は 2 つつきます。
- 10 個以上の × がつくと失格となります。
- この組の順位は以下の通り決定します。
 - (1) 正解数が多い方が上位。
 - (2) (1) が同じ場合、誤答数の少ないほうが上位。
 - (3) (1)(2) が同じ場合、1 ○ 1× のサドンデス。

■ Group B: 10 hits combo V (出題: 上坂)

- 参加者は全員 0pts からスタートします。
- n 連答をすると $n - 1$ pts が加算されます。
 - ここで「連答」とは、他人の正解や自身の誤答を挟まずに正解を重ねることです。

- 10pts 以上になれば勝ち抜けです。
- 誤答は、個人で m 回目の誤答の場合、その後 m 問の解答権を剥奪します。
- この組の順位は以下の通り決定します。
 - (1) ポイントが多いほうが上位
 - (2) (1) が同じ場合、正解数が多い方が上位。
 - (3) (1)(2) が同じ場合、1 ○ 1× のサドンデス。

■ Group C: 10 by 10 (2019 edition) (出題: 鈴木)

- 参加者は全員正解ポイント 0pts, 誤答ポイント 10pts からスタートします。
- 正解すると正解ポイントが +1pt されます。
- 誤答すると誤答ポイントが -1pt されます。
- 連答すると、正解ポイントと誤答ポイントの両方が +1pt されます。
- 正解ポイントと誤答ポイントの積が 100pts 以上に到達すると勝ち抜けです。
- 誤答ポイントが 0pts になると失格となります。
- この組の順位は以下の通り決定します。
 - (1) ポイントが多い方が上位。
 - (2) (1) が同じ場合、1 ○ 1× のサドンデス。

■ Group D: Sequential 100 (出題: 鈴木)

- 参加者には 2 つの整数が割り当てられます。最初は (1, 1) からスタートです。
- 正解すると、2 つの整数のうち小さい方に大きい方の数を足します。ただし、2 つの整数が同じ場合、左側の数字を 2 倍します。
 - 例 1) (5, 3) の状態で正解すると、(5, 8) となる。
 - 例 2) (3, 3) の状態で正解すると、(6, 3) となる。
- どちらかの整数が 100 以上に到達すれば勝ち抜けです。
- 誤答した場合、2 つの整数のうち大きい方を 0 にし、更に × が 1 つつきます。(2 つの整数が同じ場合は左側を 0 にします。)
- 2 つの整数のうち小さい方が 0 の状態で誤答するか、通算で × が 3 つつくと失格となります。
- この組の順位は以下の通り決定します。
 - (1) 2 つの整数のうち大きい方の数が大きい大きい方が上位。
 - (2) (1) が同じ場合、1 ○ 1× のサドンデスで順位を決定。

Extra Round: Gate of Hybrid

- 準決勝進出者以外の全参加者が参加する最終予選です。
- このラウンドは 2 ステップからなります。

■ 1st step

- 準決勝に進出していない全参加者によるサバイバル筆記クイズです。
- この筆記クイズは、4 問を 1 セットとし、4 問の問題を連続出題します。
 - 最初の 2 問は上坂問題、次の 2 問は鈴木問題となります。
- 4 問中 2 問以上正解できれば、次のセットに参加することができます。正解数が 1 問以下だとその時点で失格となります。
- これを繰り返し、残っている人数が 8 名以下となった時点で 1st step を終了します。
 - なお、あるセットで参加者全員が失格となった場合、final step は行わず、Semifinal は 8 名で行います。

■ final step

- 2nd step を勝ち抜けた最大 8 名が参加する早押しクイズです。
- 5 問正解で Extra Round 勝利となります。

- 誤答した場合、
 - 最初の誤答では次の問題以降 5 問の間解答権を剥奪します。
 - 次の誤答では失格となります。
- 次の条件が満たされた場合、そのセットは終了となります。
 - 50 問経過した。
 - 1 名が勝利した。
- 50 問経過でセット終了になり、勝者が決まらない場合は、Extra Round は勝者なしとします。

Semifinal: Decent of hybrid

- 3rd Round を勝ち抜けた 8 名と、Extra Round の勝者最大 1 名が参加する 3 セット制の早押しクイズです。
- 開始前に、各セットで使用する問題をくじ引きで決定します。
 - 各セットでは、「Hybrid」「上坂」「鈴木」を 1 回ずつ使用します。
- 各セットでは、参加者は 20pts を持った状態でスタートします。
- 正解すると、自身のポイントが +1pt され、他の参加者のポイントが -1pt されます。
- 誤答した場合、セット内 n 回目の誤答の場合 $-(n+1)$ pts されます。
- 0pts 以下になった時点でそのセットの解答権を剥奪します。
- 解答権を持つ参加者が 1 人になった時点で、その参加者がそのセットでの勝ち抜けとなります。
- 各セットは以下の条件のうち少なくとも 1 つが満たされた時点で終了となります。
 - 勝ち抜けが出た。
 - 8 分経過した。
 - 45 問経過した。
- 勝ち抜けが出ずにそのセットが終了した場合、その時点でポイントが最も高い 1 名が勝ち抜けとなります。最高ポイントの参加者が 2 名以上にいる場合、その参加者の間で 1 ○ 1× のサドンデスを行います。

Final: Speed of hybrid

- 制限時間 2 分間のタイムレースを最大 7 セット行います。
- 全セットについて、参加者は 0pts からスタートします。
- 最初のセットは正解 +1pt, 誤答 -1pt となります。
- 最初のセットで使用する問題は「Hybrid」です。
- 各セットごとに、ポイントの最も高い方がセットを獲得します。
 - 最高ポイントが複数人いる場合、以下の要領でセット獲得者を決めます。
 - (1) 最高ポイントの参加者による 1 分間の延長戦を行います。延長戦のルールは正解 +1pt, 誤答 -1pt と同じで、使用する問題は「共通予備」です。
 - (2) これで決定しない場合、1 ○ 1× のサドンデスでセット獲得者を決めます。
- 第 2 セット以降は、その前のセットで 2 位と 3 位であった参加者が、ルールと問題の種類をそれぞれ選択します。
 - ルールは以下の 3 種類です。
 - (1) 正解 +1pt, 誤答 -1pt
 - (2) 正解 +2pts, 誤答 -1pt
 - (3) 正解 +1pt, 誤答 -2pts
 - 問題は、「Hybrid」「上坂」「鈴木」の 3 種類です。
 - ルール、問題ともに、各選択肢は 2 回までしか選択できません。
 - 選択方法は次の通りです。
 - * まず前セット 3 位の参加者が、「ルール」か「問題」のどちらかを選択します。
 - * 次に前セット 2 位の参加者が、3 位の参加者が選択しなかった方を選択します。つまり、3 位の参加者がルールを選択した場合は問題を、問題を選択した場合はルールを選択します。
- 先に 3 セットを獲得した参加者が優勝となります。